

日本物理学会 2017 年秋季大会

領域 10 インフォーマルミーティング 議事録

日時：2017 年 9 月 23 日（土）12:30～13:30

会場：岩手大学 上田キャンパス B11 会場

議題

1. 領域 10 運営会議（2017/6/2）報告

- 次年度の正副代表・運営委員選出は従前通りの方法で行う。
 - X 線・粒子線分科の次期運営委員として荒川悦雄先生（東京学芸大）が推薦・承認
- 若手奨励賞審査委員については全ての分科から内諾を頂いている。
- シンポジウム小委員会報告
 - シンポジウムの総時間を 3.5 時間に抑えるのは原則論であり、最大 4 時間を目安としたシンポジウム時間の超過は必ずしも問題ではない。
 - 特定の研究グループに偏った講演者の選出は避ける。ただし、研究内容の明確な差（理論と実験など）を領域代表が説明できれば問題ない。
 - 新学術領域や CREST 等のプロジェクトを中心としてシンポジウムは認められない→共催シンポジウムを活用する。
 - シンポジウム講演者が非会員の場合には選出理由が必要。
 - 会場等の都合により、提案された全てのシンポジウムが開催できるとは限らない
 - シンポジウムに関する上記の注意事項は次の運営委員へ引き継ぐ
- 領域委員会報告
 - 素核宇ビ領域と領域 10 の合同での企画講演が採択された。別会場・別日程という点で懸念があったが、この点は問題なかった。
 - 2018 年の年次大会より非会員一般の参加登録費が改訂される（事前登録では現行の 7,500 円から 15,000 円へ倍増される）。
 - 優秀学生発表賞については各領域から多くの意見が出されているが、その集約はできず、継続協議となった。
- 物理学会旅費規程改訂
 - 今回のプログラム編集会議から定額制となる。ただし、地域差もあるため、詳細が必要な場合には学会へ問い合わせる。
- その他
 - X 線・粒子線分科の運営委員選出ローテーションが変則的となっていたため、

対応案が山田先生より示され、承認された。

➤ 領域 10 ホームページのリニューアルについて進捗状況が説明された。

2. 2018 年度の代表・副代表・運営委員について

- 2017 年度（後期）の代表・副代表・運営委員の確認が行われた。
- 2018 年度（前期）の副代表・運営委員として以下の方々が推薦され、承認された。
 - 副代表：池田直 先生（岡山大）
 - 誘電体分科運営委員：中島伸夫 先生（広島大）
 - 格子欠陥分科運営委員：佐藤和久 先生（阪大電顕セ）
 - X線・粒子線分科（陽電子）：オローク ブライアン 先生（産技研）
 - フォノン分科：中村暢伴先生（阪大基礎工）

3. 共催シンポジウムについて

- 共催シンポジウムの実施要領案について説明が行われた。
- シンポジウムのクオリティに対する審議等は従来通りで、物理学会は共催シンポジウムの主催者へ課金（金額は未定）する予定。
- 今年の秋には設立される見込み。
- 他学会では同様のシンポジウムが既に設けられており、物理学会は遅れている。

4. 優秀学生発表賞（領域 10 学生奨励賞の後継）について

- 学会から提案された実施要綱案について説明が行われた。
 - 賞の名称は日本物理学会学生優秀発表賞であり、賞状は会長名で授与される。
 - 対象は物理学会正会員の大学院生または学生会員による学会発表で、各領域より推薦された候補者を会長/理事会が審議・承認し、受賞者が決定される。
 - 2018 年秋季大会より受賞を始める予定。
- 領域 10 では、これまで領域 10 独自の表彰制度として「領域 10 学生奨励賞」を設けて運用してきた。他の領域でも同様の賞が運用されているが、これらの賞には物理学会名が付けられているにも関わらず、学会がオーソライズしていないことが問題となり、今回の優秀学生発表賞の新設という流れとなった。
- 領域という括りはプログラム編成のためだけという文言があるのに、候補者の推薦を領域に任せるとするのは矛盾があるのではないか？
- 現在の奨励賞はよく回っている。領域 10 は、物理学会のために優秀学生発表賞に乗ってあげるという立場で捉え、運用としてはこれまで通りで良いのではないか。
- 今回の流れ（領域 10 学生奨励賞→優秀学生発表賞）には乗るべきだと思う。
- 仮賞状の発行は必要だと思う。PDF ファイルでも良いので、受賞者へはできるだけ早く知らせるべき。
- 領域 10 学生奨励賞の最大の受賞者人数はどのくらいか？（→3~4 名程度）
- 受賞者数は各分科から 1 名程度を目安に領域から 4 名程度としてはどうか？
- 受賞者数は制限なしでも良いのではないか？ → 内規の関係で制限は必要。

- 最大数はそんなに少なくても良いのか？8名程度でも良いのではないか？
 - 追って、内規の提出が求められる。これまでの領域10学生奨励賞の内規・運用方法を参考に作成したい。引き続き協力をお願いしたい。
5. 領域10学生奨励賞（優秀学生発表賞）の表彰方法について
- これまで、表彰状は受賞者へ郵送されてきたが、これでは少し味気ない。今後は、申し込みのあった大会の次の大会の領域IMで表彰してはどうか？なお、次の大会のIMへ参加できない受賞者については、これまで通り表彰状を郵送することとし、受賞者の領域HPでのアナウンスについてはこれまで通り行うことにする。
 - 上記の改訂案は承認され、次回大会より実施されることになった。
6. 領域10ホームページの移設について
- Word Pressを使った新しいHPの準備がほぼ整った。
 - 10月中旬を目途に移設したいため、もし何か問題があればそれまでに連絡してほしい。
 - HPのセキュリティーについては物理学会が面倒を見てくれるのか？→HPサーバーのセキュリティーという意味では従前どおりだが、Word Pressの機能（プラグイン等）を使ったアクセス制限等については領域10の責任となる。
 - 過去のIM議事録が一部見当たらない。もし持っている人がいれば運営委員へ連絡してほしい。
7. その他
- 現在は分科に分かれてメーリングリストがあるが、領域全体への連絡があった場合にはその都度、運営委員へ連絡をお願いしないといけない。この点は何とかならないか？→領域全体のメーリングリストを作ることは問題ない。使用頻度は少ないかもしれないが、作ってみてはどうか。

以上

進行：領域10連絡委員 垂水竜一（大阪大学）

書記： 荻 博次（大阪大学）